

第67期

報 告 書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



営業の概況

当事業年度のわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行による金融緩和政策等を背景に円高の是正や株高が進んだことにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は光通信ケーブル用資材の生産拠点再編成をはじめとした生産効率の向上や安価原料の検討によるコスト削減に努めるとともに、原材料値上げに伴う価格転嫁を進めるなど収益改善に取り組んでまいりました。

製品の販売状況につきましては、合成繊維製品における衛生材料用途および高機能チューブ製品における産業機械向け用途の販売が好調に推移したものの、光通信用ケーブル資材「コンポーズテンションメンバー」は、情報通信分野における通信環境やニーズの変化により光通信ケーブルの敷設需要が減少し、販売が大きく下回りました。また、フレキシブル銅張積層板「ユピセル」は、デジタル市場全体の需要は好況に推移したものの、新興国の技術力向上と最終製品の低価格品へのシフトによる価格競争の激化などにより、販売が大きく減少いたしました。その他の製品につきましては、製品毎に増減の大小はあるものの、総じて前事業年度並みに推移いたしました。

なお、当社は平成25年10月1日をもって、「宇部日東化成株式会社」から社名を変更し、「宇部エクシモ株式会社」となりました。今後も新たな価値の創造へ挑戦を続けていくことにより、独自の技術を融合・発展させたモノづ

くりに努め、より一層社会に貢献してまいります。

また、当事業年度は、当社岐阜工場において安全性やエネルギー効率の向上を図るため、使用燃料を従来の重油から天然ガスに変更したボイラーに更新いたしました。これに伴いエネルギー使用合理化事業者支援補助金として1千4百万円を特別利益に計上し、社名変更に伴う諸費用3千4百万円、生産拠点の再編成などによる固定資産処分損3千1百万円を特別損失として計上いたしました。

この結果、当事業年度の売上高は124億9千5百万円（前事業年度比1.7%減）、経常利益が1億8千7百万円（前事業年度比63.2%減）、当期純利益は6千3百万円（前事業年度比76.1%減）と減収減益となりました。

【電子・情報材料部門】

当部門の売上高は31億2千8百万円（前事業年度比16.0%減）となりました。

光通信ケーブル用資材「ラセンコンポーズ」は、国内市場が縮小するなか積極的な販売活動の展開により販売は好調に推移したものの、販売価格が落ち込み、売上高は前事業年度並みとなりました。

光通信ケーブル用資材「コンポーズテンションメンバー」は、スマートフォンやタブレット型端末の普及に伴うワイヤレスブロードバンド通信のシェア拡大によるFTTH加入者数の漸減などケーブル敷設需要の減少や安価な輸入品の影響を受け、販売が総じて低調であったた

め、売上高は前事業年度を大幅に下回りました。

高純度シリカ微粒子「ハイプレシカ」は、高機能樹脂充填材用途の需要が減少したものの、スマートフォンやタブレット型端末向け液晶ディスプレイ用途などの販売が伸長し、売上高は前事業年度並みとなりました。

フレキシブル銅張積層板「ユピセル」は、スマートフォンやタブレット型端末の普及により市場は好況であったものの、新興国の技術力向上や最終製品価格の下落に伴う価格競争の激化、また、ターゲットとした需要の立ち上がりが遅れたことから、売上高は前事業年度より大幅に減少いたしました。

【機能樹脂製品部門】

当部門の売上高は37億3千1百万円（前事業年度比5.8%減）となりました。

FRP製品は、初秋における天候不順や厳冬期における大雪被害の復旧特別需要などの影響を受けて、農業向け用途の販売が総じて堅調に推移したものの、水産関連用途の震災復興需要が収束した結果、売上高は前事業年度を大幅に下回りました。

中空構造フィルム「サニーコート」は、農業用途の販売が堅調に推移いたしましたが、窓用フィルム向けの販売は安価な類似品の台頭により需要が減少し、売上高は前事業年度を大きく下回りました。

高機能チューブは、主用途である産業機械向け用途の

販売が堅調に推移したことに加えて、昨年度から自動車向け用途の販売を開始したことにより、売上高は前事業年度を大幅に上回りました。

ロープ原糸「ダンライン」は、水産用ロープ需要が減少し、売上高は前事業年度を大きく下回りました。

また、当事業年度より産業機械向け用途としてフィルターの販売を開始いたしました。当社の繊維製品と樹脂加工技術を生かし、積極的な販売活動を進めてまいります。

【繊維・産業資材部門】

当部門の売上高は56億3千5百万円（前事業年度比12.1%増）となりました。

複合繊維「UCファイバー」は、衛生材料用途の国内外での需要が大きく伸長したことにより、販売が好調に推移し、売上高は前事業年度を大幅に上回りました。また、ニッケル水素電池向けの高強度ポリプロ繊維「シムテックス」は、自動車向け販売が堅調に推移し、売上高は前事業年度並みとなりました。

プラスチックダンボール「ダンプレート」は、自動車向け資材の需要が堅調に推移した結果、売上高は前事業年度を上回りました。

4層中空ハニカム構造板「ツインコーン」は、物流資材用途の販売が減少したものの、用途開発に取り組み、土木資材用途の販売など需要を開拓したことにより、売上高は前事業年度を上回りました。

貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		
科 目	当 期 (平成26年3月31日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)
流 動 資 産	9,733,583	10,804,178
現金及び預金	1,225,911	1,692,544
受取手形	660,683	804,283
売掛金	3,506,749	3,540,180
商品及び製品	1,220,300	1,334,205
仕掛品	206,581	250,723
原材料及び貯蔵品	522,596	756,425
前払費用	18,113	12,880
繰延税金資産	127,828	174,606
未収入金	126,879	223,147
預け金	2,114,729	2,010,055
その他	8,313	10,957
貸倒引当金	△ 5,104	△ 5,831
固 定 資 産	6,357,929	6,125,603
有形固定資産	4,018,232	3,740,524
建物	1,035,798	960,662
構築物	83,899	80,518
機械及び装置	1,131,677	901,881
車輛運搬具	2,163	449
工具、器具及び備品	78,872	53,143
土地	1,453,218	1,453,218
リース資産	8,483	12,339
建設仮勘定	224,121	278,311
無形固定資産	49,235	109,561
ソフトウェア	42,587	102,913
電話加入権	6,647	6,647
投資その他の資産	2,290,462	2,275,516
投資有価証券	216,632	192,617
関係会社株式	40,000	40,000
関係会社出資金	1,102,014	1,102,014
長期貸付金	9,539	9,926
長期前払費用	24,814	4,742
繰延税金資産	800,302	826,021
敷金及び保証金	50,265	53,299
破産更生債権	—	17,324
その他	55,594	55,594
貸倒引当金	△ 8,700	△ 26,024
資 産 合 計	16,091,513	16,929,781

(単位：千円)

負債の部		
科目	当期 (平成26年3月31日現在)	前期 (平成25年3月31日現在)
流動負債	2,931,617	3,811,395
買掛金	1,681,131	2,307,080
短期借入金	135,000	270,000
リース債務	4,954	5,424
未払金	740,948	731,790
未払費用	86,794	94,802
未払法人税等	7,805	74,534
未払消費税	44,175	33,255
預り金	23,534	23,560
賞与引当金	192,273	200,947
災害損失引当金	15,000	70,000
固定負債	2,386,709	2,318,105
リース債務	5,951	10,906
退職給付引当金	1,989,814	1,929,260
役員退職慰労引当金	65,020	71,503
資産除去債務	36,716	35,894
長期預り保証金	289,205	270,541
負債合計	5,318,327	6,129,500
純資産の部		
株主資本	10,682,528	10,725,238
資本金	2,492,500	2,492,500
資本剰余金	1,725,000	1,725,000
資本準備金	1,725,000	1,725,000
利益剰余金	6,465,028	6,507,738
利益準備金	368,088	368,088
その他利益剰余金	6,096,939	6,139,650
特別償却積立金	34,161	44,700
固定資産圧縮積立金	8,795	—
別途積立金	3,500,000	3,500,000
繰越利益剰余金	2,553,982	2,594,949
評価・換算差額等	90,657	75,042
その他有価証券評価差額金	90,657	75,042
純資産合計	10,773,186	10,800,280
負債・純資産合計	16,091,513	16,929,781

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	前 期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
売 上 高	12,495,993	12,713,577
売 上 原 価	9,635,716	9,617,104
売 上 総 利 益	2,860,277	3,096,472
販売費及び一般管理費	2,740,693	2,673,829
営 業 利 益	119,583	422,643
営 業 外 収 益	71,285	110,557
受取利息及び配当金	9,450	11,379
その他の営業外収益	61,834	99,177
営 業 外 費 用	3,488	23,488
支 払 利 息	1,556	2,672
その他の営業外費用	1,931	20,815
経 常 利 益	187,380	509,711
特 別 利 益	14,376	193,800
国庫補助金収入	14,376	—
その他の特別利益	—	193,800
特 別 損 失	65,914	352,048
社名変更費用	34,455	—
固定資産処分損	31,459	—
減 損 損 失	—	352,048
税引前当期純利益	135,842	351,463
法人税、住民税及び事業税	8,320	82,035
法人税等調整額	64,098	4,156
当 期 純 利 益	63,422	265,271

株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本					
	資本金	資本剰余金	利 益 剰 余 金			
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金		
			特別償却積立金	固定資産圧縮積立金	別 途 積 立 金	
平成25年4月1日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	44,700	-	3,500,000
事業年度中の変動額						
特別償却積立金の取崩				△10,538		
固定資産圧縮積立金の積立					8,795	
剰余金の配当						
当期純利益						
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計				△10,538	8,795	
平成26年3月31日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	34,161	8,795	3,500,000

(単位：千円)

	株 主 資 本			評価・換算差額等	純資産合計
	利 益 剰 余 金		株主資本合計	そ の 他 有 価 証券 評価差額金	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
平成25年4月1日残高	2,594,949	6,507,738	10,725,238	75,042	10,800,280
事業年度中の変動額					
特別償却積立金の取崩	10,538	-	-		-
固定資産圧縮積立金の積立	△8,795	-	-		-
剰余金の配当	△106,133	△106,133	△106,133		△106,133
当期純利益	63,422	63,422	63,422		63,422
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)				15,615	15,615
事業年度中の変動額合計	△40,967	△42,710	△42,710	15,615	△27,094
平成26年3月31日残高	2,553,982	6,465,028	10,682,528	90,657	10,773,186

会社の概況（平成26年3月31日現在）

■商 号 宇部エクシモ株式会社

■設 立 昭和41年2月22日

■資 本 金 24億9,250万円

■発行済株式総数 25,150千株

■主要な事業内容

<p>電子・情報材料 部 門</p>	<p>ラセンコンポーズ（光通信ケーブル用資材） コンポーズテンションメンバー（光通信ケーブル用資材） ハイプレシカ（液晶ディスプレイ用スペーサー） ユピセル（フレキシブル銅張積層板） その他情報材料、電子材料の製造、加工、販売</p>
<p>機能樹脂製品 部 門</p>	<p>ダンポール（農業用FRP支柱） コンポーズパイプ（水産用FRP支柱） コンポーズバタ・足場材（建築・仮設資材用FRPパイプ） サニーコート（中空構造フィルム） 高機能チューブ（産業機械用等各種チューブ） フィルター（エアーフィルター） ダンライン（水産・船舶用ロープ原糸） その他FRP製品の製造、加工、販売</p>
<p>繊維・産業資材 部 門</p>	<p>UCファイバー（紙おむつ等衛生材料用複合繊維） シムテックス（電池セパレーター用繊維、コンクリート剥落防止用メッシュ） ポリプロ繊維（カーペット・フィルター用原糸） シムロック（コンクリート用補強繊維） ダンプレート（プラスチックダンボール） ツインコーン（4層中空ハニカム構造板） ツインパネルPC（ポリカーボネート製中空構造パネル） その他機能繊維製品、産業資材の製造、加工、販売</p>

■事業所

本社 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9番19号
大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島1丁目6番20号
営業所 名古屋営業所（名古屋市東区）
福岡営業所（福岡市中央区）
工場 岐阜工場（岐阜県岐阜市）
福島工場（福島県郡山市）
研究所 岐阜研究所（岐阜県岐阜市）

■従業員数 310名

■ホームページアドレス <http://www.ube-exsymo.co.jp>

役員（平成26年6月20日現在）

代表取締役社長	馬庭俊一郎	※社長執行役員	馬庭俊一郎
取締役	大原真二	※専務執行役員	大原真二
取締役	小塚健次	※常務執行役員	小塚健次
取締役	川江博	執行役員	山下隆之
取締役	杉下秀幸	執行役員	井田洋治
監査役	古川陽道	※執行役員	川江博
監査役	笠井孝真		

（注）※は取締役との兼務を示しています。